



青木 武明 議員

問 町の人口減対策について

答 需要予測も踏まえて、住宅開発を進めたい

問 五霞町は、年間約100人の人口が減少している。このまま人口減少が進めば、10年後、2025年には8,000人を割り込むことが予想される。自然増が難しい中で住宅地の開発を目指すべきと思うが、その考えは。

政策財務課長 人口減少対策や地域の活性化を目的とした、五霞町人口ビジョン・総合戦略の策定を計画している。

そして、定住移住促進事業で、人口流出抑制や新たな流入人口に向けた受け皿となる住宅の需要ニーズを把握するとともに、住宅開発を進めるための開発適地や需用予測などの調査を行う。

問 町長はタウンプレス読売という機関紙の中で「若者のまちを作ろう」という記事を掲載して

る。この若者のまちというのは、どのような構想のもとに考えているのか。

町長 若い人に住んでいただくための条件としては、まず働く場。これを作らなくてはならない。それから子育て支援等、やはり総合的な施策を実施していかななくてはならないと考えている。

問 人口減少問題とも関係があると思われるが、

圏央道インター周辺開発の中で商業エリア、これが15・5ヘクタール計画されている。

この商業施設の規模と内容について、町の考えは。

都市建設課長 新4号国道に面した道の駅との集客連携を考慮し、A・Bブロック合わせた区域への施設誘致を目標としている。内容については、将来にわたって商業エリ

A全体の土地利用が効果的に推進される施設が、新たな雇用の創出に加えて、定住化の一助として関連付けられればと考えている。

問 生活道路の整備について

答 全体のバランスを考えて管理していく

問 町道、特に生活道路の未整備の箇所がまだ多数あると思われるが、何か所位あって、今後、整備をしていく考えは。

都市建設課長 宅地付100メートル未満の袋小路の道路は、現在町内で38か所あります。生活道路の整備については、地域の実情や地元要望、財政事情などを勘案し、必要・緊急性を考慮しながら、改良及び舗装、補修を行い、4メートル以上の幅員を確保することを前提として順次対応している。



未舗装の袋小路道路

■町の常住人口の推移 各年4月1日現在(人)

年	H23	H24	H25	H26	H27
合計	9,329	9,237	9,142	9,004	8,858
前年比	△97	△92	△95	△138	△146
男	4,697	4,637	4,599	4,542	4,477
女	4,632	4,600	4,543	4,462	4,381